

豊郷町隣保館だより

2025年8月22日発行 豊郷町隣保館 ☎0749-35-0611 No.257



『夏休み♥子ども食堂まつり In 平和学習♥』

8月6日(水)、朝から暑い日差しが照り付ける日となりましたが、事前に申込をしてくれた100人の子どもたちが元気に集まってくれました。楽しい遊びコーナーでいっぱい遊んで、昼食はみんなで美味しいハヤシライス！そして、午後からは「平和学習」を行いました。

子ども食堂のみなさんが、戦争を体験した家族や親せきの人から聴いたお話を聴かせてくれました。子どもたちの真剣な表情が印象的でした。抜粋して紹介します。

『私は親せきの叔父の話します。現在97歳で豊郷町に住んでいます。叔父は中学生の時に自分から志願して飛行練習兵になりました。2年間厳しい訓練を受けましたが、戦地に行く前に日本は戦争に負けてしまいました。

15歳で兵隊になろうと志願した叔父はどんな気持ちだったのでしょうか。戦時中の時代は「お国のために戦いましょう」という教育だったのです。自分が何をしたいのかを考えることもなく戦争に参加しなければならなかったのです。∴、戦争に負けてからが大変でした。食べる物もなかったのです。今のように栄養のある食事なんてとれませんでした。みんなのひいおじいちゃん、ひいおばあちゃんの時です。戦後の大変な時を過ごしてこれた人たちは、地域の中で協力し合ってきました。

「お味噌、お砂糖、ちよっと貸して」というようにね。

叔父は生活のため、家族のため仕事を頑張りました。

少しずつ心や生活にゆとりが出てきたとき、地域の中でいろいろと活動をしていました。とてもやさしい叔父さんです。戦争によって多くの人が亡くなり、終わってからもみんなが苦労しましたね。戦争って、なんだろうね。なんのために命をかけて戦ったのだろうね∴。』

敗戦から80年、最後の問いかけを考えたいですね。

